

P22 鉄欠乏性貧血、月経異常とコルチゾール低下を合併し女神散が著効した難治性全頭脱毛症

○水野信之¹、小林裕美¹、石井正光¹、高橋邦明²

1 (大阪市立大学大学院医学研究科皮膚病態学)、

2 (大東市・高橋皮膚科)

【緒言】女神散は気血両虚・気滞・心火旺に対する方剤で、臨床的には自律神経失調症・神経症・不眠症・月経不順・月経困難症などに応用される。今回、他の漢方方剤をはじめ種々の治療で改善せず、血中コルチゾール低下、小球性低色素性貧血を示し、月経困難・月経不順を伴った難治性全頭脱毛症に女神散を投与し著明な改善をみた症例を経験したので報告する。

【症例】32才、女性。5才頃より円形脱毛症。20才頃より脱毛は徐々に拡大した。6か月前より脱毛が顕著となり全頭脱毛の状態となった。5か月前より微熱と易疲労感があった。なお、この頃父親が入院し、看病で疲れていたという。初診時現症：頭部全体に脱毛し少数の終毛が残存する。月経不順(+)、月経痛(++)。肩こり、手足の冷え、易疲労感(+)。赤血球数 477万、Hb 11.7 g/dl、MCV 78 fl(↓)、MCH 24.5 pg(↓)、T-Chol 253 mg/dl(↑)、コルチゾール 3.8 μg(↓)、ACTH 15.0 pg/ml。甲状腺機能正常、自己抗体(-)

【経過】初診時より食事指導、ステロイド外用と補中益気湯投与を開始した。6週頃脱毛の進行は停止、少数の終毛の出現を認めたがそれ以上の改善はみられなかった。3か月目よりカリジノゲナーゼ内服と半導体レーザー照射を開始し、4か月目より通導散を追加し、6か月目には肩こりと腹痛は半減した。さらに、柴胡加竜骨牡蛎湯、柴苓湯、十全大補湯および鉄剤、亜鉛剤などを適宜併用し、17か月目には、初診時の愁訴・検査値異常のほとんどは改善していたが、月経不順は持続し、また明らかな発毛も認められなかった。この時点で女神散を開始したところ、4週後には頭頂部に発毛が認められ、月経の遅れも短縮された。その後も順調に発毛、成長を示し、21か月目、女神散開始4か月目には頭部のほぼ全体に終毛が認められるようになった。また月経の遅れも4日程度と短縮した。

【総括】難治性脱毛症で、気血両虚と月経異常を伴う場合には、女神散は試みるべき方剤であると考えた。